

きほくのまち人探訪

「もっとたくさんの人が農業に興味を持つきっかけに」



はらだ まさお
原田 雅央 さん

10月から鬼北町農業研修生となり、就農を志す原田雅央さん。松山市から移住し、これから1年間、野菜や果物などを栽培するさまざまな知識や技能を学んでいきます。

農業研修生になる前は、結婚式場のカメラマンとして働いていた原田さん。風景写真の撮影や道の駅巡りのため、南予や高知方面に何度も足を運ぶ中で、南予地域の風土の良さを感じていったそうです。

「自然と関わる仕事がしたい」。そんな思いから、農地が借りられる市民農園で夫婦で協力しながら、野菜作りに約4年間挑戦しました。実際に育てて

みるととても面白く、農業をやってみたくらいという気持ちが一層強くなっていったそうです。

一方で「50代での挑戦は遅いのではないか」と、不安な思いを抱えていた原田さん。しかし、「田舎ではまだまだ若いですよ」と、町の担当者からかけられた心強い言葉や、いくつになっても活躍している農家の方たちの姿が、原田さんの挑戦を後押ししてくれました。「年代に関わらず農業をやってみたくらいと思っている人たちはもっといるはず。同年代の人たちが農業に興味をもってもらえるきっかけになりたい」と笑顔で話していました。

ALTの鬼の里Diary ~ Chrisdelle編 ~

「I hope you all a Merry Christmas」



12月に一番ワクワクすることは、クリスマスです。私はアメリカ出身ですが、私の家族はフィリピン人です。フィリピンでは、「September、October、November、December」の「-ber months」つまり、9月からクリスマスのカウントダウンを開始します。とても早いですよね？

私たちはいつも「パロル」という、美しく特別なフィリピンのクリスマスランタンを飾りつけます。私の家族はクリスマスの飾り付けに多くの時間と労力をかけるので、1月まで飾りは

外さないでいます。

昨年はフライドチキンとクリスマスケーキを食べてクリスマスを祝いました。今年は、甘いスパゲッティ、ルンピア（フィリピンの春巻き）、エンブティード（フィリピンのドライソーセージ）など、より伝統的なフィリピン料理を作りたいと思っています。興味がある方はぜひ作ってみてください。私の家族からあなたの家族まで「マリガヤンパスコとマニゴンバゴントオン！」（メリークリスマス、そしてハッピーニューイヤー）

地域おこし協力隊活動日記

「泉貨紙を使った商材開発を進めています」

地域おこし協力隊2年目

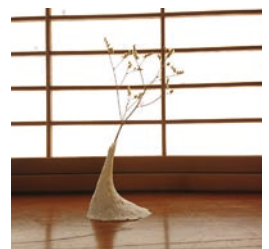
あわの 栗野 まさおみ
正臣



朝夕の冷え込みも強くなり、年末が迫ってきているのを感じます。鬼北町では、花や木などの自然の変化が目に見えるので、はっきり四季を感じることができるのですが、本当に1年経つのが早いですね。

10月に広見体育センターで催された「きほく作品展」には、何点か出品させていただきました。自分の作品を発表する場があると、やはり士気も高まります。また、ものづくりをされている他の方の作品を見ることで、自分の発想の引き出しが増えている気がします。

泉貨紙を使った商材開発としては、現在、一輪挿しやランプシェード等に取り組んでいます。一輪挿しは、きほく作品展にも展示させていただきました。ランプシェードについては、とあるゲストハウスの寝室に使っていただけのこととなりましたので、設置が完了しましたら、皆さんにまたご報告したいと思えます。



▲落水紙の一輪挿し